

メディア情報工学科だより



2012年6月25日 第7巻第1号(通巻第17号) 沖縄工業高等専門学校メディア情報工学科発行

学科近況

本校は平成16年に本科1期生を受け入れてから9年目になります。3月17日には本科37名、専攻科3名が卒業していきました。彼ら彼女らは関東、関西、九州また沖縄県内で進学・就職それぞれ自ら選んだ道で頑張っています。また、4月3日に本科9期生42名、専攻科4期生2名を新入生として受け入れられました。本校での5年あるいは2年間を有意義に過ごし、沖縄高専に入学して良かったと心から思いながら卒業して欲しいものです。昨年、在外研究として1年間タイ国で研究活動をしてきたタンスリヤボン先生が3月末に帰任しました。滞在中は洪水被害で大変だったようですが、1年間の研究の成果を本学科の教育に活かされると期待しています。

(平成24年度メディア情報工学科長：正木 忠勝)



各学年の話題(5年生)

学級の状況について

5年生は高専本科最後の年を迎えました。各自配属された研究室の卒研スペースに自分専用のいす机を持ち、卒研のための専門的な学習やレポート作成の他、友人と楽しく談笑する姿が多く見られます。これからあと9か月の高専最後の年を有意義なものとしてほしいと願っています。



コンピュータグラフィックスⅡでのグループ制作の様子(5年メディア)

就職・進学について

今年の5年生は40名が在籍しています。このうち、就職希望が25名(62%)、進学希望が15名(38%)となっています。これまでメディア情報工学科は就職希望者が他学科と比べ高かったのですが、昨年あたりから進学希望者が増え、就職と進学希望者の比率は他学科とはほぼ同じ値になってきています。

就職では、今年の1月頃から就職活動がスタートし、6月15日現在で14名の学生が(県内2名、県外12名)県内外の企業から内定を得ています。一方、15名の学生が進学を希望していますが、電気通信大に1名、本校専攻科に8名の学生が合格しています。工学系学部が多くで8月頃まで編入学試験が実施されます。

まだ、約4割の学生の進路が確定しておりません。保護者の方と連携して進路指導を進めていきたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願い致します。



卒研配属について

卒業研究の配属先は昨年の「学科だより」でお知らせしましたが、少し変更がありましたので、再度お知らせします。卒業研究は、就職進学活動により各自の進捗に差はありますが、おおむね卒研テーマの選定を行っているところです。今後、10月中旬に中間発表、来年1月末に最終発表を行う予定です。

各研究室の配属学生一覧

研究室(教員名)	配属学生	
姉崎 隆	大城 創	城間 栄一
	知念 央久	前津 勇輔
伊波 靖	新垣 杏里	新垣 京香
	澤岨 明菜	ハヅラグツカ
角田 正豊	里 拓	世嘉良 紳
	鉢嶺 清淳	前野 粒子
正木 忠勝	金城 雅人	瀬長 優介
	名渡山 南	八木澤 莉子
太田 佐栄子	仲地 眞早	宮城 大作
	吉本 太志	與那嶺 まこ
玉城 龍洋	宇江城 貴仁	上地 遥
	金城 匡	具志堅 和真
タンスリヤボン スリヨン	佐久田 瑞己	田端 浩之
	宮城 龍亮	
西村 篤	喜屋武 慶治	島袋 七星
	松田 拓磨	
鈴木 大作	上原 幸竜	近藤 玄基
	重 枝里奈	山城 菜月
佐藤 尚	平良 沙織	仲眞 眞子
	比嘉 康晴	和宇慶 朝亮
バイティガ	玉城 由基	西村 佳晃

(メディア情報工学科5年担任:角田 正豊)



各学年の話題(4年生)

学級状況について

高専4年生になった学生達は一般大学の1年生に相当しますが、急成長してすっかり大人になりました。1年後に本格的な進学・就職活動を控えた彼らは、インターンシップの準備やビジネスマナー講習会などを通じて、少しずつ自分の進路に対する意識を持ち始めたように感じられます。

しかし、学生達と個人面談を通して進路に関する話をする、「就職したいと考えているが具体的な職業となると自分が何をしたいのかわからない」、進学を考えている学生も、「何のために進学するのか、大学で何を学びたいのかわからない」といった学生が多いのが現状で、一つの心配の種です。

進路戦線を有利に勝ち抜くためには早いうちから考え、準備するということが必要です。私達担任教員団としても、彼らが進路戦線に有利になるために日頃から資格取得の推奨や基礎知識の強化などを指導しています。

ちなみに進学・就職活動の時期は以下のようになります。

- 進学の入学試験時期
 - 専攻科進学(推薦選抜)は2013年4月頃
 - 専攻科進学(学力選抜)は2013年5月頃
 - 大学3年編入は2013年5~8月頃
- 就職活動
 - 早いところでは2012年秋から開始

来年度の進学または就職戦線が厳しくなることが予想されます。学生達のご自宅に帰省した折には、進路について話合いの機会を持っていただけますよう、何卒よろしくお願いいたします。

最後になりますが、一人でアパート生活する学生については、食事や生活のリズムの乱れがないかなど、また車やバイクを運転する学生については交通事故等に十分気を付けるよう、ご家庭においても話し合っていただければと思います。

(メディア情報工学科4年担任:タンスリヤボン スリヨン)



体育祭の様子(4年メディア)



体育祭の様子(4年メディア)

インターンシップについて

沖縄高専では4年生を対象に「インターンシップ」という必修科目を設定しています。これは、学内での講義や講演会、そして、県内外の協力企業等での就業体験で構成された科目です。この就業体験を通して、学生たちは本校で学んだ様々な知識や技術などを企業等においてどのように活かすことができるのかを実践的に確かめることができます。また、実際に仕事を行うことで、学生たちは、学校にいただけでは分からない具体的な仕事の内容や職場の雰囲気、「働く」ということがどういうことなのか、などについて学ぶことができます。

今年度のインターンシップでは、8月13日（月）から9月21日（金）までの夏期休業中に2週間程度の就業体験をすることになります。6月現在で、メディア情報工学科のインターンシップ履修生39名中10名の学生のインターンシップ先が確定しており、その他の学生も鋭意履歴書等の書類作成を行っているところです。

これまでの取り組みとしては、4年生全体に向けてのインターンシップ説明会、企業等の担当者によるインターンシップ企業説明会、SPI模擬試験、履歴書における志望動機および自己PRの書き方の指導、沖縄キャリアセンターより講師を招聘して行ったビジネスマナー講習会、などを実施しました。インターンシップが始まるまでには、更に企業研究を進め、学生1人1人にとって大変有意義なインターンシップとなるよう、指導していきたいと考えています。

（メディア情報工学科4年副担任・インターンシップ担当：佐藤 尚）



7・8・9月の予定

- 7月4日 メディア情報工学科3～5年生の保護者を対象とした学科懇談会
- 7月20日 臨時休業日（授業なし）
- 8月2～7日 前学期期末試験
- 8月8～10日 試験返却日
- 8月12日 閉寮
- 8月13日～9月21日 夏休み
- 9月22日 開寮
- 9月24日 後学期授業開始

各学年の話題(2年生)

学級状況について

2年生は、学年共通行事として、4月18日（水）LHRで本校スクールカウンセラーの宮城桂氏（臨床心理士）による講話を聞きました。1年のカウンセラー講話では、悩みや困難を避けるのではなく、必要であれば周囲の助けも借りながら乗り越えることが重要という考え方と、困難に気づき周囲に相談する方法などを、具体的な事例をもとに紹介してもらいましたが、2年生では、もうすこし踏み込み、自殺防止の観点から、ストレス反応の説明、学内だけでなく学外の相談機関・医療機関の利用まで、具体的な知識を身に付けてもらうことを目的としました。同じく2学年全体の行事として、5月16日（水）には昨年に引き続き助産師の小森香織氏を講師に迎え「性に関する講演会」が行われました。1年では、性の問題は命の問題でありすべての人に一生関係がある、ということの理解を主な目的としていましたが、2年生向けの講話では「それって恋愛？デートDV？～性の自立のために」と題して、力の強い者から弱い者に対して連鎖的に発生する暴力発生の仕組み、暴力の被害によって判断力や自尊感情が阻害されること、「暴力」の反対は「尊重」であり暴力を防止するためには被害に気づき「ノー（いや）」という事、またそう言える関係・環境があることが大切、などを具体的な事例を通じてわかりやすく説明していただきました。学校は勉強をするところだと思っている人は多いと考えられますが、全寮制となっている高専1～2年生においては、学校は学生にとって生活の場でもあります。各ご家庭におかれましては、学生の成績だけでなく、健康面や、ひとりの人としての育ちの側面にも着目し、それぞれの学生なりの奮闘を確認する機会を持っていただきたいと思います。学生のことについて、心配、困っていること、などがありましたら、学級担任、学科担任、また学生相談室、いずれでも利用しやすい相談窓口を気軽にご利用下さい。

（メディア情報工学科2年担任 西村 篤）



国語Ⅱの授業の様子（3年メディア）

各学年の話題(1年生)

学級状況について

入学式からはや2ヶ月以上が経ちました。その間に体育祭や中間試験など多くの行事もありました。前期期間中はこのクラスの講義を受け持たないため、クラスと私の接点は週1回のSHR(ショートホームルーム)のみですが、毎週会うたびに遅くなる学生のみなさんの表情に嬉しく(戦々恐々と)感じています。高専生の生活は寮生活とセットのため、就寝時間以外のほぼすべてが高専に関わる時間となります。2ヶ月という時間は、高専色に染まるのに十分なようです。さて、このように充実した濃密な時間を過ごせる高専ですが、期間も5年間(専攻科に進学すると7年間)と長く、勉強ばかりでは息切れを起こしてしまいます。部活動や委員会活動など適度な息抜きの方法を身につけることが重要です。

また、これらの課外活動は4年後の就職活動においても重要な意味を持ちます。就職活動の面接でほぼ聞かれる質問に「あなたが高専生活で1番頑張ったことは何ですか?」がありますが、4年生の就職を意識した時点で「頑張ったこと」が何もないことに気づいてもどうしようもありません。この質問に胸を張って答えるためにも低学年のうちからこれらの課外活動を積極的に行うことをお勧めします。

高専の専門科目は積み上げ式です。課外活動の技術・知識も当然積み上げでしょう。1年生の今こそ、今後5年間のために大事な基礎を築く努力をして下さい。

(メディア情報工学科1年担任:玉城 龍洋)



その他の学科内の話題

専攻科創造システム工学専攻 情報工学コースについて

沖縄高専5年間の本科を卒業後、さらに勉強や研究を続けたい学生は本校に設置された2年制の専攻科へ進学する選択肢があります。専攻科ではより専門性の高い研究を行います。専攻科を修了後、独立行政法人大学評価・学位授与機構の審査を受けて、学士の称号が授与されます。

本校専攻科創造システム工学専攻には4つのコースがあります。そのうち情報工学コースはメディア情報工学科のカリキュラムを発展させた授業構成となっています。

平成24年度情報工学コースではメディア情報工学科から進学した1年生2名、2年生4名が学んでいます。

(情報工学コース長:正木 忠勝)

資格試験について

4月15日に実施された情報処理技術者試験にメディア情報工学科から22名の学生が挑戦しました。情報処理技術者試験はIT分野の技術者を対象とした国家資格試験です。今回の試験では基本情報技術者試験に2名、応用情報技術者試験に2名が合格しました。おめでとうございます。

また、平成23年11月27日に実施されたCG検定では7名が合格しました。検定区分ごとの合格者はつぎの通りです(学年は平成24年度の学年)。

【CGエンジニア検定 画像処理部門 エキスパート】

澤岬明菜(5年)、

【CGエンジニア検定 CG部門 ベーシック】

前津勇輔(5年)、島袋拓也(4年)

【CGクリエイター検定 WEBデザイン部門
エキスパート】

前野粒子(5年)

【CGクリエイター検定 WEBデザイン部門
ベーシック】

正木彩花(3年)

【CGクリエイター検定 デジタル映像部門
ベーシック】

大城愛花(3年)、當野美幸(3年)

(資格試験担当:正木 忠勝)



編集後記

「メディア情報工学科だより」は、メディア情報工学科の学生をお持ちのご家庭を対象に、年2回(6月と12月)発行している学科通信です。1期生が3学年となった平成18年度に刊行し、今年度で7年目となりました。ご意見ご要望がございましたら、是非下記連絡先までお知らせ下さい。また学校に対してお持ちの疑問・要望、また他の保護者の方々にも知って欲しいことなどを投書して下さい。大歓迎ですので、是非お気軽にお便りをお寄せ下さい。

【編集担当者連絡先】

〒905-9021 沖縄県名護市辺野古905番地

独立行政法人 国立高等専門学校機構

沖縄工業高等専門学校 メディア情報工学科 太田 佐栄子

TEL:0980-55-4003(代) FAX:0980-55-4012(代)